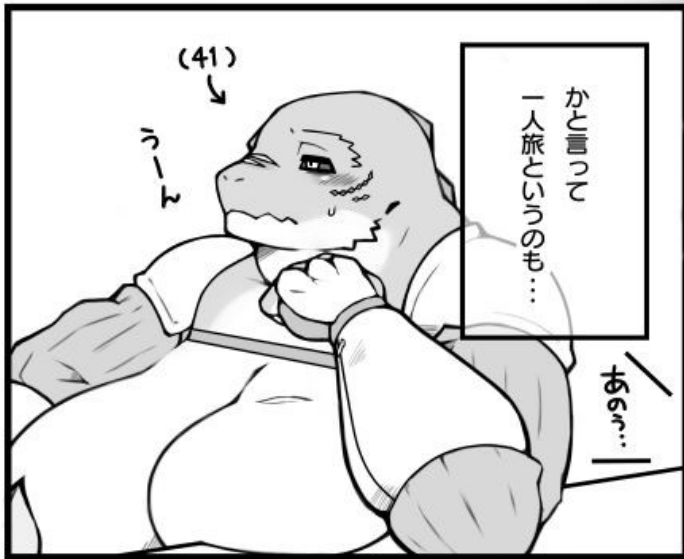


これで何度目
だったかしら、

またパーティを
クビになってしまった。



パーティの
作り方 by 雨戸

突然に訪れた運命の出会い。
誰にも相手にしてもらえない
その新米冒険者の悲しい事情は、
正直、彼女の頭には
全く入っていませんでした。

?

あ、あの、なんで
こんなじやない?
サレバ、アノコノコトヲ
サレバ、アノコノコトヲ

大丈夫♡
パーティを組むときの
儀式みたいなモノよ♡

あらまあ立派♡



数時間後

これで
パーティー結成ね☆

♡♡♡

ブルン

ポポ♡

ビュッ

ドッ

ブルン

ブルン

後に、この二人は
伝説のパーティーとして
その名を轟かせるが…
それはまた別のお話。

♡

END















